

1. リモートセンシング技術を活用した市民参加型バイオマス調査

■公益財団法人イオン環境財団との取り組み

イオン環境財団とRESTECはリモートセンシング技術を活用した持続可能な地域づくりの実現のため、2019年に連携協定を締結し、イオンモール幕張新都心での環境教育やエコプロダクト2019への出展などの取り組みを行ってきました。今般、新たな取り組みとして、宮崎県「綾町イオンの森」におけるリモートセンシング技術を活用した市民参加型のバイオマス調査を2020年12月10日に実施しました。

綾町では、イオン環境財団が2013年～2019年に町有林伐採跡地で植樹を行っており、今回実施したバイオマス調査により、植樹林のCO₂吸収量を推定し植樹後の気候変動緩和への貢献度合いを客観的に把握することができます。

■ICTで身近な森を測る

リモートセンシング技術を活用し、樹齢7年の樹木を対象にしたバイオマス量算出には、人工衛星やドローンから取得される情報と、現地調査の情報を用います。当日の現地調査については、植樹に携わってきた綾町より綾中学校1年生(64名)をはじめ、綾ユネスコエコパークセンター、イオン環境財団及びRESTECが参加しました。参加者は12班に分かれてイオンの森へ入り、タブレットでドローンの観測画像を確認しながらおよそ60本の調査対象の樹木を探し、樹種、樹高、幹の周囲長をメジャーなどで測定してタブレットに入力しました。

後日、タブレットに記録された測定結果とドローン観測画像から

取得した情報を用いてRESTECが森全体のバイオマス量を算出し、気候変動緩和への貢献度合いを評価しますが、ドローンから取得した情報だけでなく、こうした現地調査のデータを得ることでバイオマス量算出の精度が向上します。

また、ICTを利用した環境保全活動に中学生が参加することで、環境問題や科学技術への関心が高まることが期待されます。



2. 埼玉県比企郡鳩山町との「人工衛星データ等の活用による協力活動に関する包括協定」の締結及びフロアマットの寄贈について

この度、埼玉県比企郡鳩山町と「人工衛星データ等の活用による協力活動に関する包括協定」を締結しました。

本協定は、包括的な連携のもと人工衛星データ等の活用を通じて地域における課題の解決を促進することを目的としており、具体的には、RESTECの保有する技術や衛星データを活用した防災・減災、地域の産業・観光振興やまちづくり、学校教育などへの協力活動が盛り込まれています。

また、本協定の締結を契機に今後の協力関係がさらに深まり浸透することを願い、鳩山町の衛星画像を用いたフロアマットを寄贈し、鳩山町役場本庁舎1階ロビーに設置いただきました。RESTECは今後も地方行政におけるリモートセンシング技術の利用を推進してまいります。



3. ウィンターインターンシップ開催の報告

去る12月14、15日に、RESTECウィンターインターンシップ2daysを開催し、文理を問わず、全国から18名の方が参加されました。当初は、希望者がオンラインか対面かを選択できるハイブリッド方式で開催することを検討しておりましたが、コロナ禍の状況を鑑み、オンラインのみでの実施と致しました。

今回のメインプログラムは、グループワークでの衛星データ活用法の検討でしたが、互いに初対面の参加者の皆さんが、果たしてオンラインで議論できるだろうかという不安がありました。スタート時はどのグループも多少のぎこちなさはありませんでしたが、各グループに配置した若手職員のサポートにより、徐々にメンバーの特性が反映された議論が進み、最終のプレゼン時には、それぞれのグループがユニークな活用法を提案して下さいました。プレゼン内容についての参加者・職員との意見交換や、プログラム終了後の懇親会もオンラインで行い、対面式と比べても遜色のないインターンシップであったと思います。グループワークのサポートを担当した若手職員からは「参加者の



専攻や興味・関心のある分野から選んだ具体的な課題に対して、ビジネス的な観点も含めて衛星データを活用したアプローチを議論し、企画作りを行うことで、衛星データビジネスについて考え、そして学べる有意義な機会となったと思います。」という声もありました。

今後も、夏と冬に各1回ずつインターンシップを開催する予定ですので、ご興味のある方は是非ご参加下さい。

4. 衛星情報データベース(衛星総覧)が便利になりました

RESTECのホームページには財団の事業や製品の紹介だけでなく、世界各国の人工衛星の情報、用語集といったリモートセンシング技術に関するコンテンツを掲載し、多くの方にご利用いただいています。

なかでも、衛星情報データベース(衛星総覧)は1972年打ち上げのランドサット1号以降、各国200機以上の人工衛星に関する運用機関、観測目的などの概要の他、搭載センサーや衛星諸元といった詳細情報を掲載しており、皆様から大変ご好評をいただいていた。この度、さらに便利にご利用いただくため、衛星総覧に検索機能を追加しました。

今回のリニューアルによりフリーのキーワードや打ち上げ年などで人工衛星を検索可能となり、名称がわからなくても簡単に目的の衛星を見つけ出すことができます。より便利になった衛星総覧はRESTECホームページグローバル

メニューの「リモートセンシングとは?」よりご利用いただけます。RESTECのホームページは、皆様のお役に立つ情報の提供や内容の充実を図り、これまで以上に使いやすいサイトを目指してまいります。

【検索項目】

- 衛星の頭文字 (A-Z)
- 国籍
- 種別
- 打ち上げ年
- キーワード



■ 編集後記 本号では、イオン環境財団との持続可能な地域づくりの取り組みや鳩山町との協定など、リモートセンシング技術を用いた持続可能な開発目標(SDGs)への貢献や地域課題解決の活動をご紹介します。RESTECは、他にも農業、漁業や気候変動など様々な分野へのリモートセンシング技術の活用に取り組んでいます。HPやFacebookではこれらRESTECの活動に関する最新の情報を配信しております。是非ご覧ください。



ホームページ Facebook Youtubeチャンネル